

株式会社 トリケミカル研究所

第38期(2016年1月期)

決算説明資料

東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード: 4369

2016.3

1.2016年1月期業績

2016年1月期業績の概要

単位：百万円

	15.1期	16.1期	増減額	増減率
売上高	4,103	4,956	+853	20.8%
営業利益	351	721	+370	105.5%
経常利益	426	693	+267	62.8%
当期純利益	360	473	+112	31.2%

**！売上高(2期連続)・利益共に
創業来最高を達成**

財政状態の概要(貸借対照表)

単位:百万円

	15.1期末	16.1期末	増減額
流動資産	3,357	3,757	400
固定資産	1,887	2,234	346
資産合計	5,245	5,991	746
流動負債	1,745	1,745	0
固定負債	588	870	281
負債合計	2,333	2,616	282
株主資本	2,906	3,369	462
評価・換算差額等	4	6	1
純資産合計	2,911	3,375	463
負債純資産合計	5,245	5,991	746

主な増減要因

流動資産	増収に伴う売上債権の増加	+297	流動負債	短期借入金の減少	-250
	たな卸資産の増加	+57		1年内返済予定の長期借入金増加	+139
	現金及び預金の増加	+38		買掛金の増加	+136
固定資産	設備投資に伴う有形固定資産の増加	+313	固定負債	資金調達による長期借入金増加	+270
			純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+419
				新株発行による資本金等の増加	+43

財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

	16.1期
営業活動による キャッシュ・フロー	504
投資活動による キャッシュ・フロー	-610
財務活動による キャッシュ・フロー	146
現金及び現金同等物の 増減額	38
現金及び現金同等物の 期末残高	830

CFの状況

営業CF

税前純利益計上	+693
減価償却費計上	+266
売上債権の増加	-297
仕入債務の増加	+136
法人税等の支払額	-285

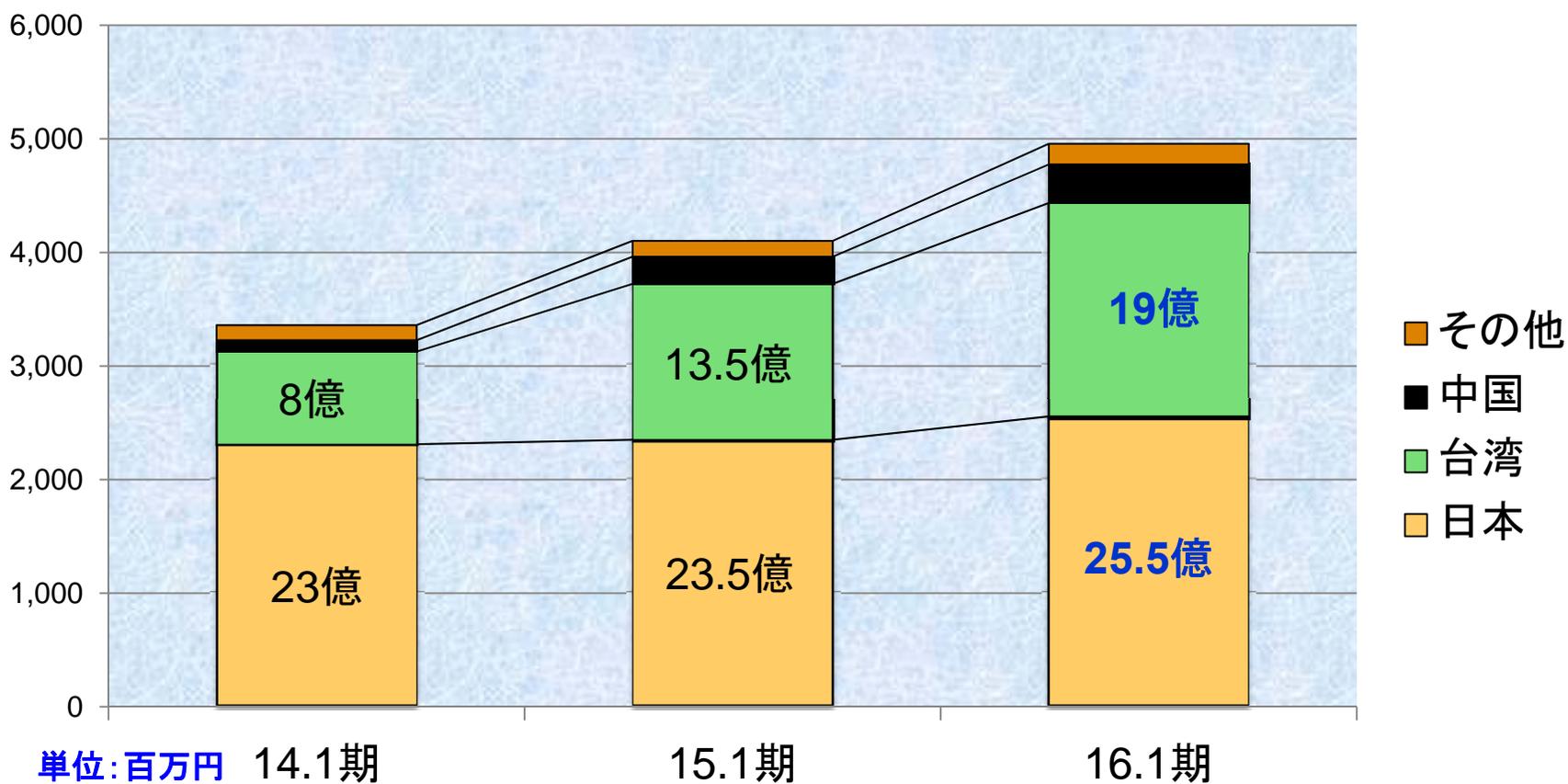
投資CF

有形固定資産の取得 -609

財務CF

借入金調達・返済 +159
株式の発行による収入 +43
配当金の支払額 -52

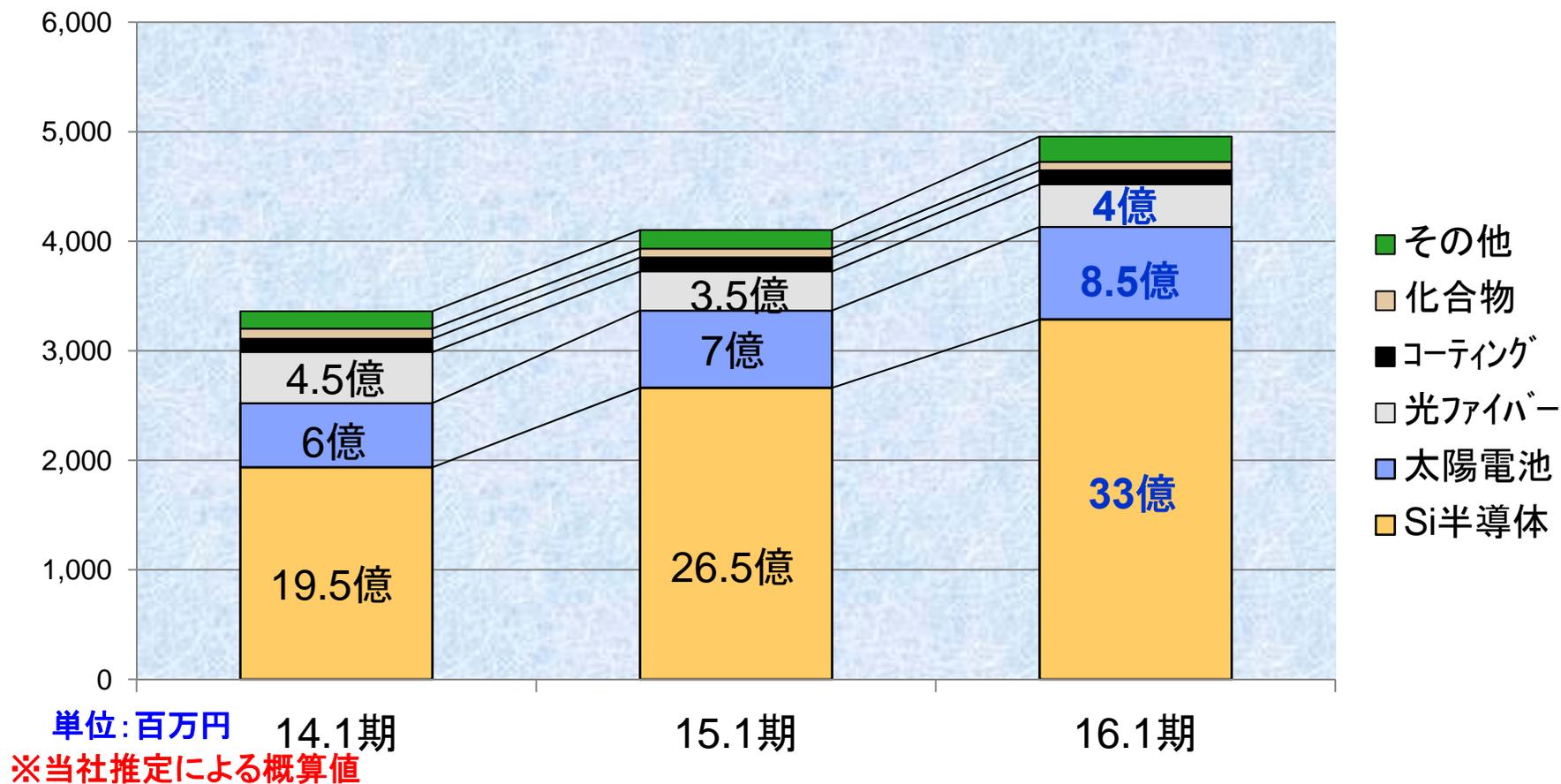
売上分析(ユーザー地域別)



単位:百万円 14.1期
 ※当社推定による概算値

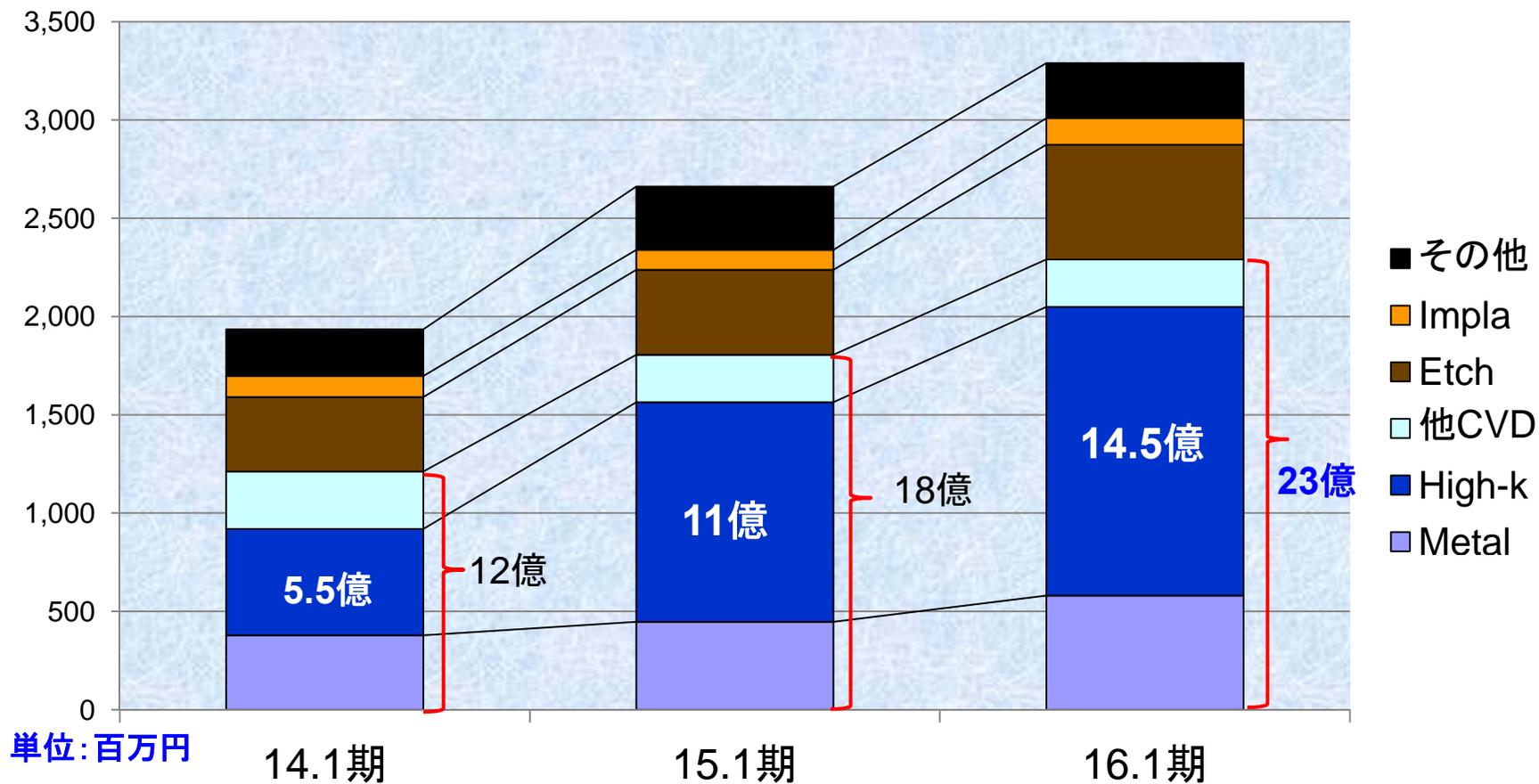
！台湾向け売上は14.1期に比べ2倍以上に

売上分析(製品用途別)



！ Si半導体向け材料を中心とした成長

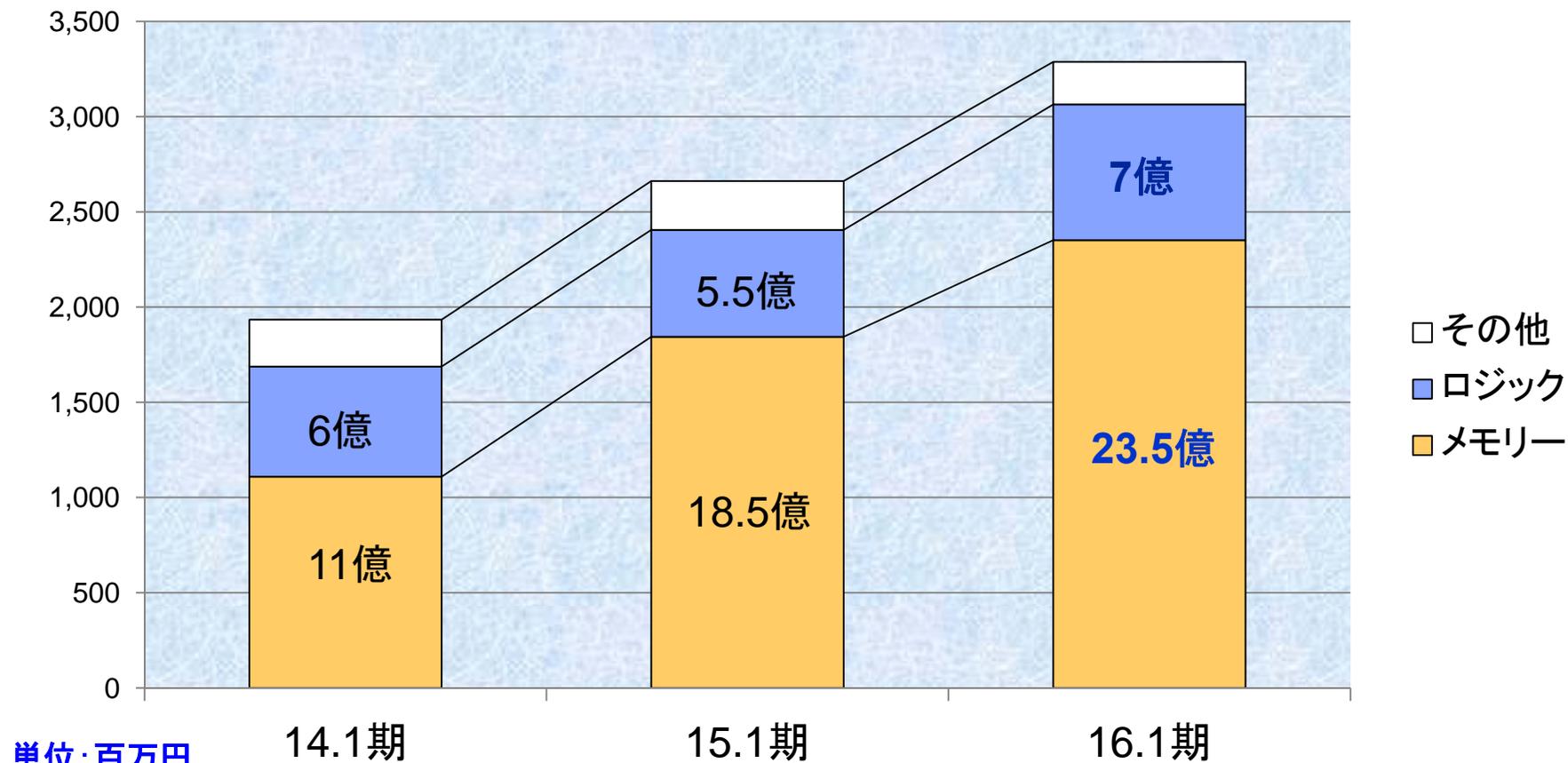
売上分析(Si半導体)



※当社推定による概算値

! High-k材料を中心に先端半導体向け材料の成長

売上分析(半導体向け先別)



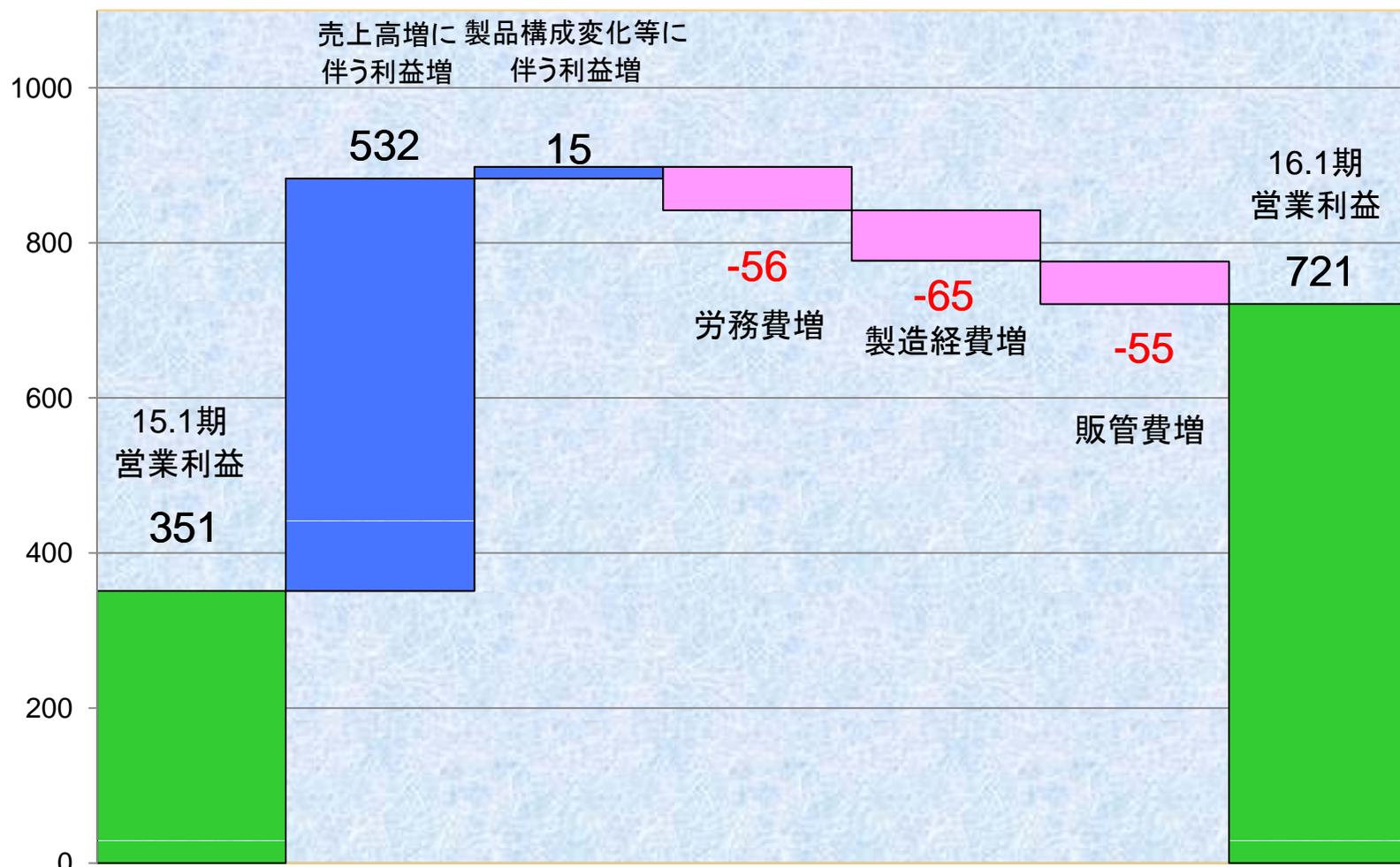
単位:百万円

※当社推定による概算値

！メモリー向け売上の大幅増

2016年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



※研究開発費振替前

2. 2017年1月期業績計画

2017年1月期 通期戦略

外部環境

- 半導体市場は濃淡あるも若干の成長を維持
- 太陽電池・光ファイバーは堅調に推移

今期の取り組み・施策

1. 売上高増加に向けての取り組み

- 好調な先端半導体向け材料の更なる販売拡充
- 海外展開は台湾市場を中心に拡大

2. 中長期的成長に向けての社内体制構築

- 作業安全性・コスト競争力の更なる向上
- 新材料ニーズを見据えた開発・生産・品質保証体制強化

2017年1月期業績予想

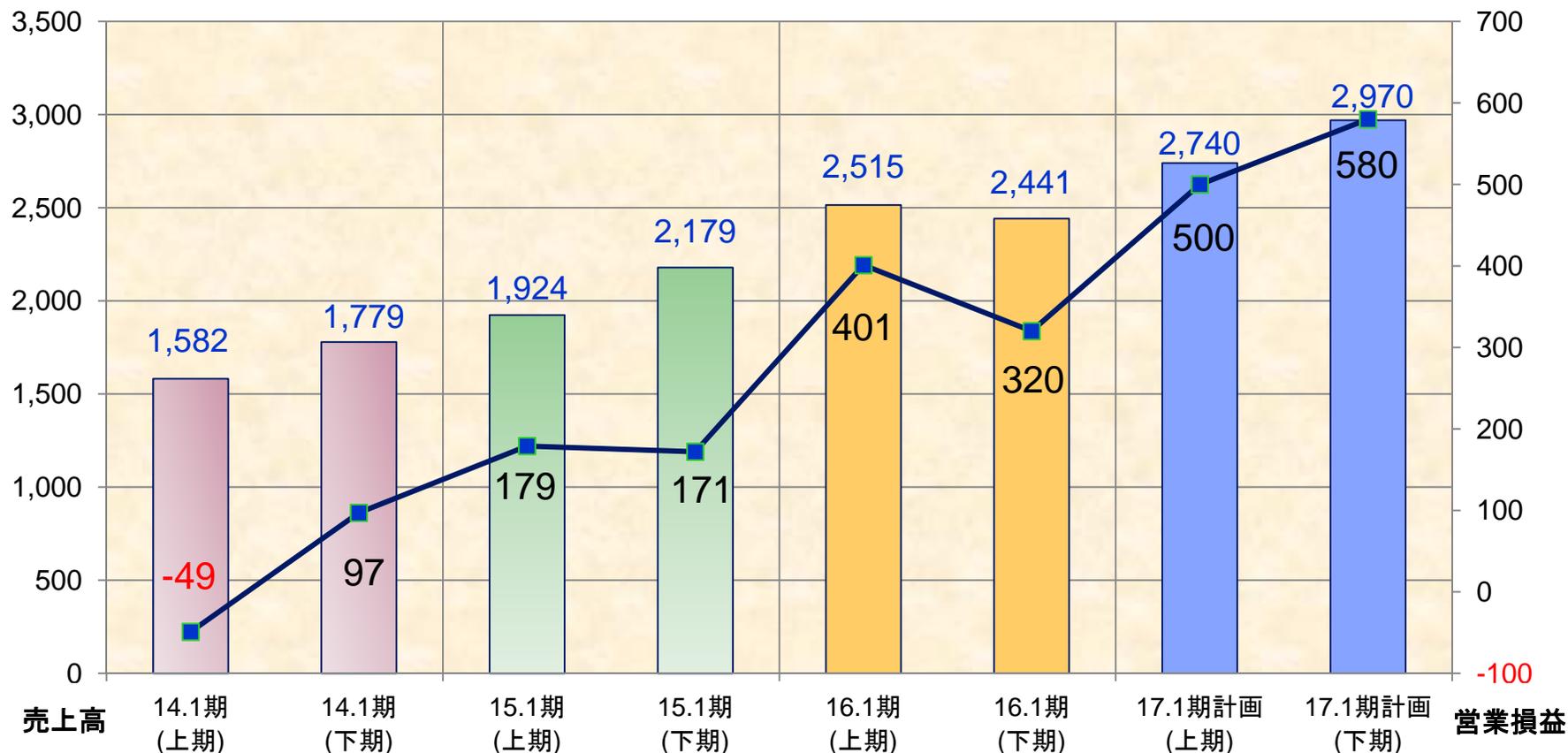
単位:百万円

	16.1期	17.1期計画	増減率
売上高	4,956	5,710	15.2%
営業利益	721	1,080	49.6%
経常利益	693	1,050	51.4%
当期純利益	473	790	66.9%

！売上高・利益とも過去最高業績をさらに更新
！1Qに投資有価証券売却益142百万円を計上

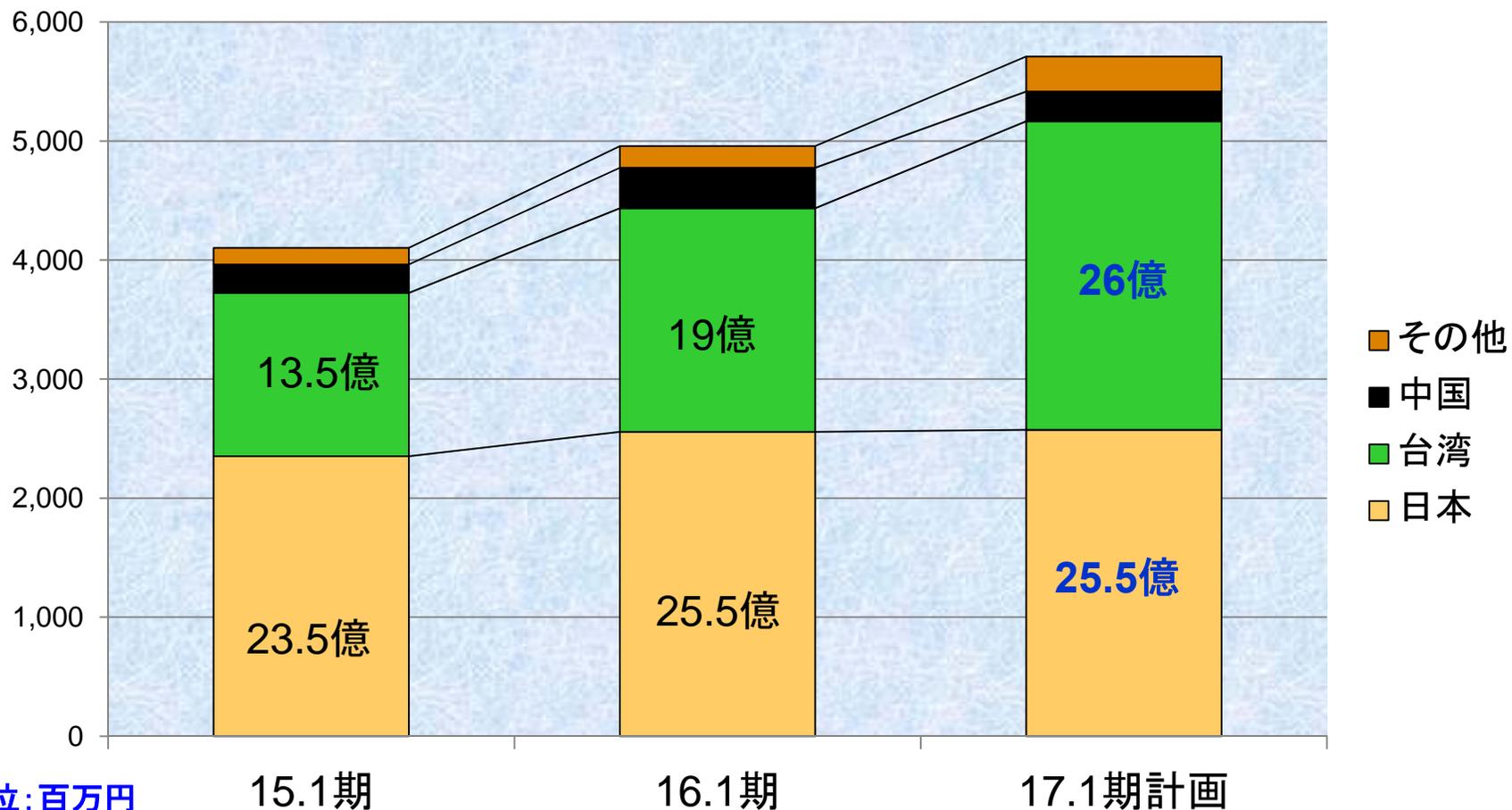
業績の推移 (半期毎)

単位: 百万円



！ 売上高・利益共に年度後半にかけて成長を見込む
！ 16.1期下期利益は決算賞与支給の影響あり

2017年1月期売上分析(ユーザー地域別)

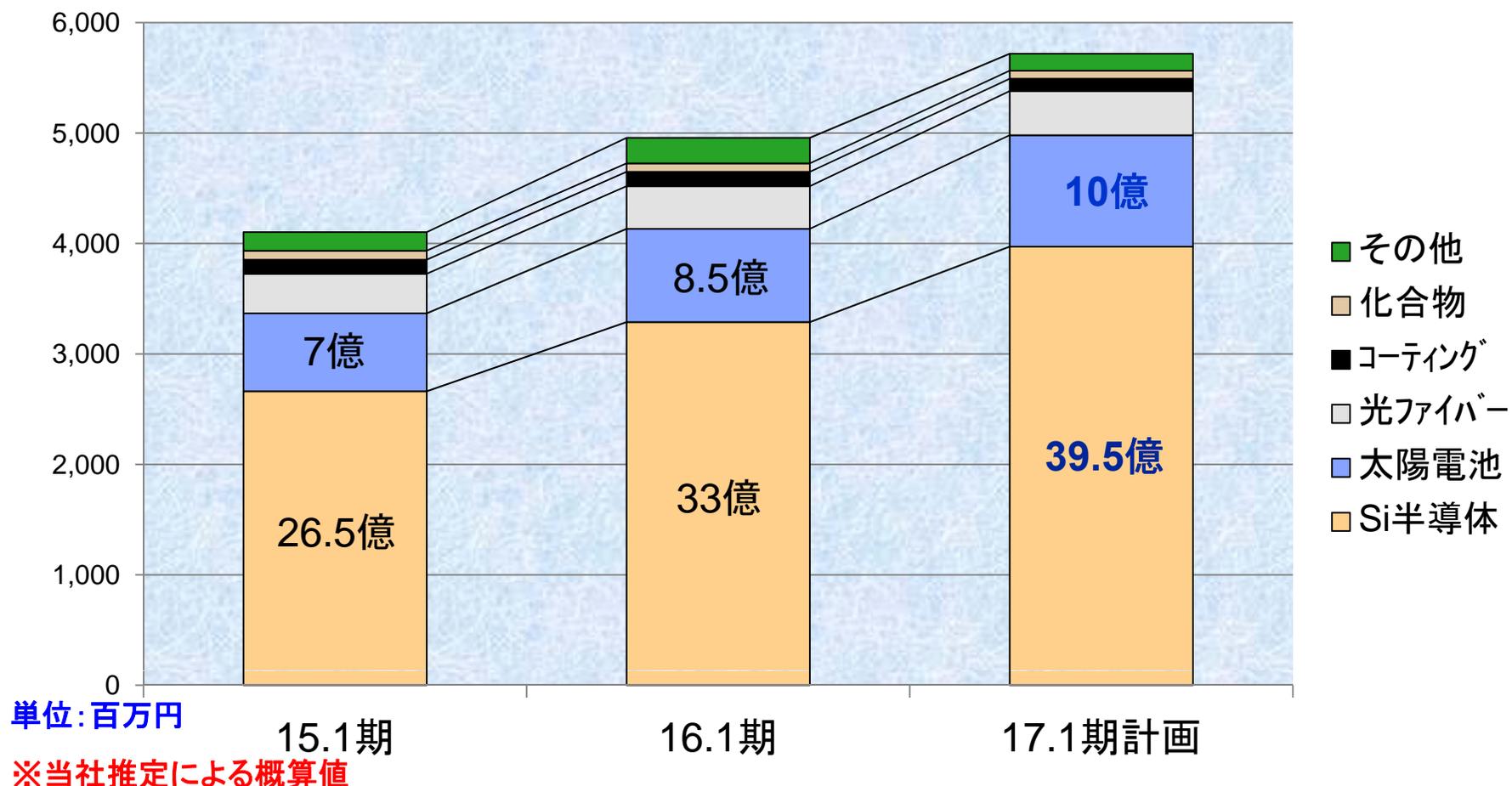


単位:百万円

※当社推定による概算値

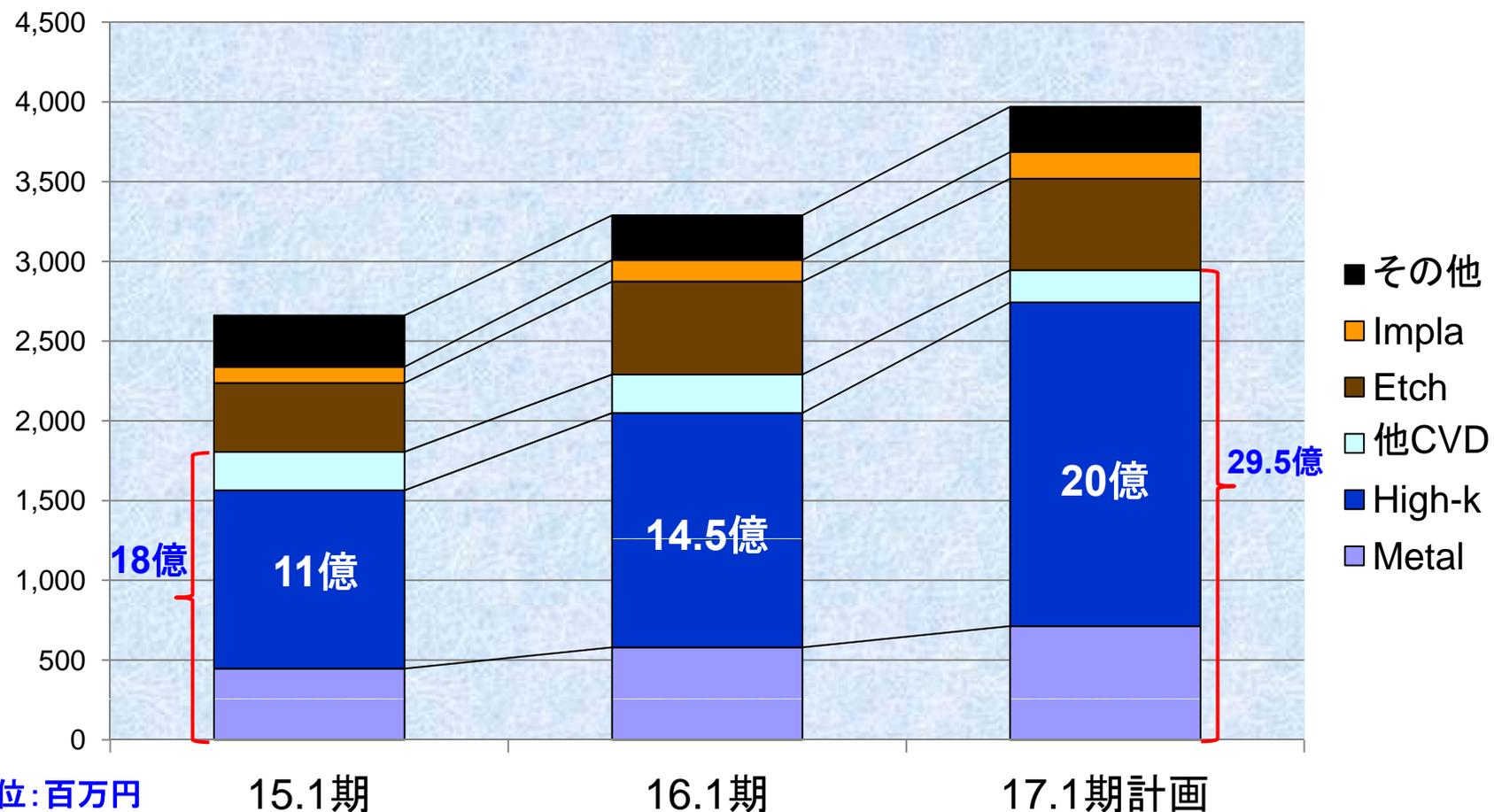
！台湾向け売上が日本向けを超える見込み

2017年1月期売上分析(製品用途別)



！ 16.1期同様、Si半導体材料を中心にさらに成長を

2017年1月期売上分析(Si半導体)



単位:百万円

15.1期

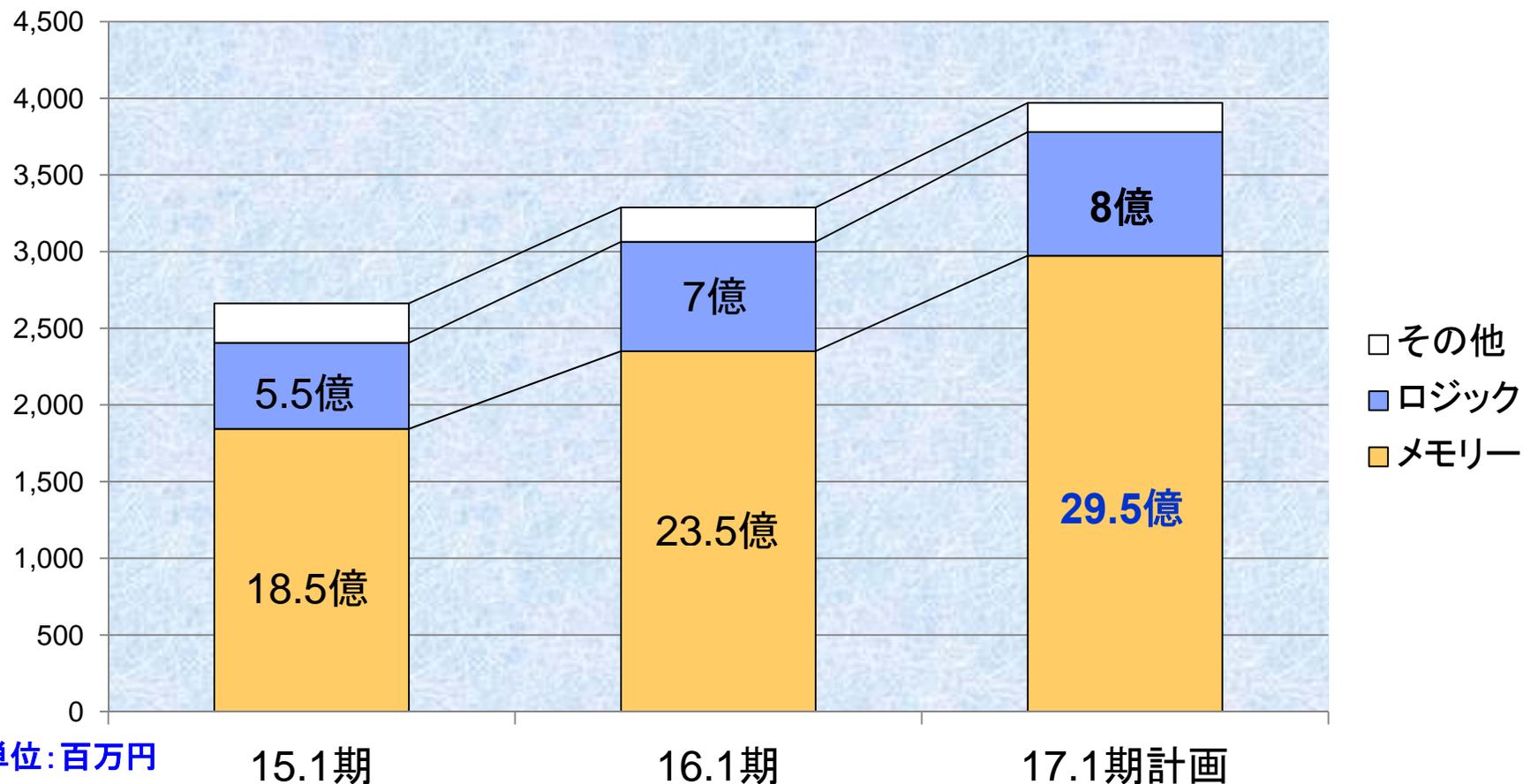
16.1期

17.1期計画

※当社推定による概算値

！ 成長ドライバは最先端半導体向け材料

2017年1月期売上分析(半導体向け先別)

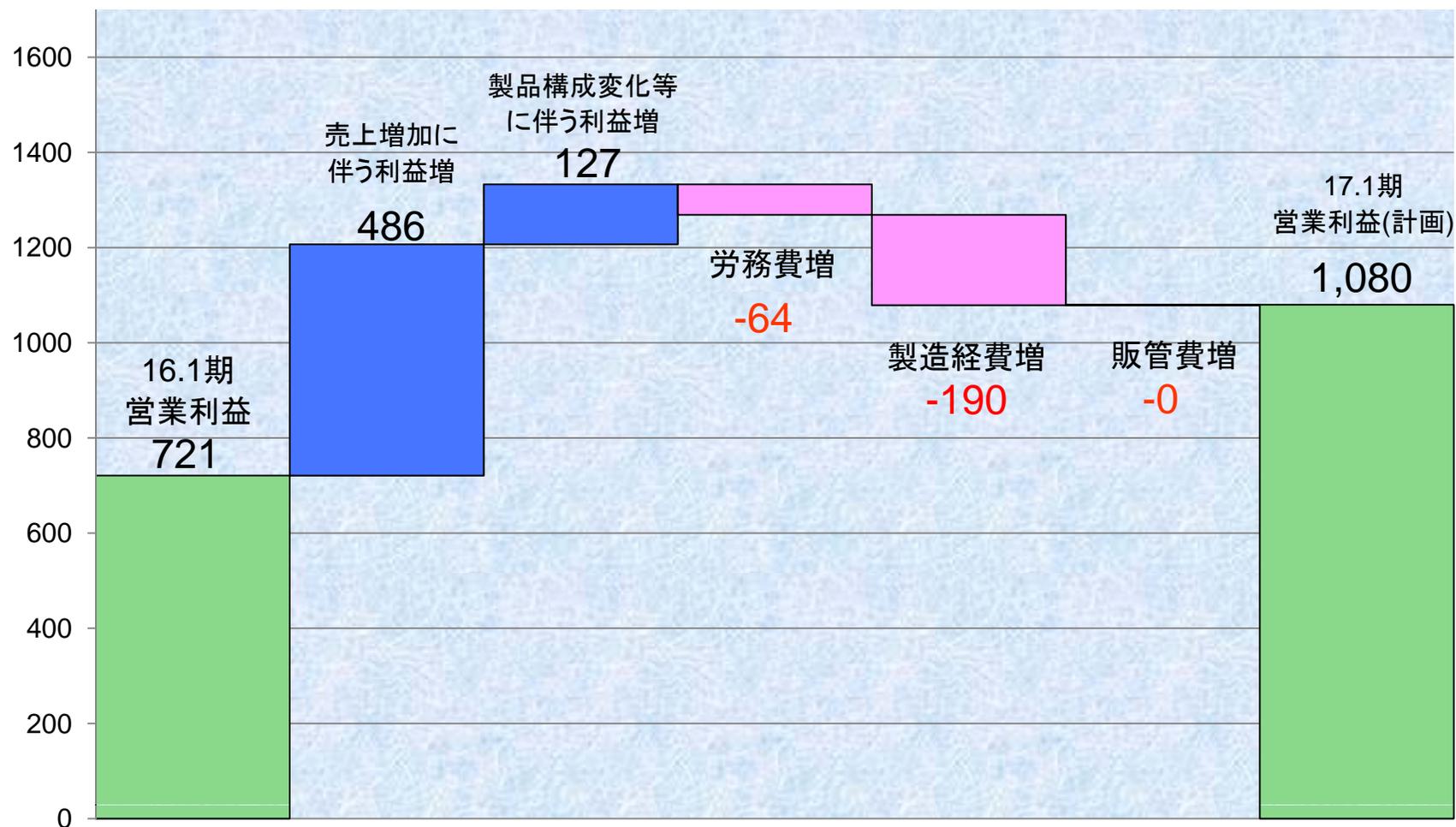


※当社推定による概算値

！メモリー・ロジック向けともに伸長の見込み

2017年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



※研究開発費振替前

3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 為替は110円/米ドルを中心に推移

2. 予測される販売価格の変動は織り込み済み

3. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	17.1期	18.1期	19.1期	3期合計
投資総額	1,119	431	571	2,121
償却費総額	362	388	397	—

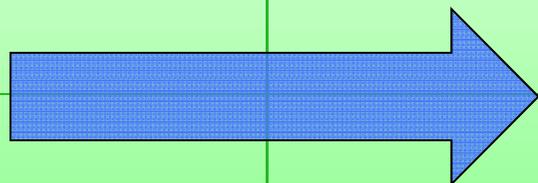
4. 増員計画 正規・非正規雇用を含め数名~10名前後/毎期の増員

中期経営計画(数値目標)



	16.1期実績	17.1期計画	18.1期計画	19.1期計画
売上高	4,956	5,710	6,280	6,700
営業利益	721	1,080	1,580	1,820
経常利益	693	1,050	1,570	1,810
当期純利益	473	790	1,060	1,220

中期経営計画(財務目標)

	16.1期実績	17.1期計画	18.1期計画	19.1期計画
売上高 営業利益率	14.6%	18.9%	25.2%	27.2%
自己資本比率	56.3%			(目標)60%
ROE	15.1%			(目標)20%超

適正な資本を維持しつつ(現状より改善を目標)、
事業利益を増大させ、企業価値の増大に努める。
中期目標ROEは**20%台の維持**

中期経営計画:達成に向けて

外部環境

- 半導体市場は緩やかな成長を持続
- 半導体微細化により材料、プロセスは進化
(新材料ニーズ・3D積層等)
- 太陽電池、光ファイバー市場はほぼ横ばいと見込む

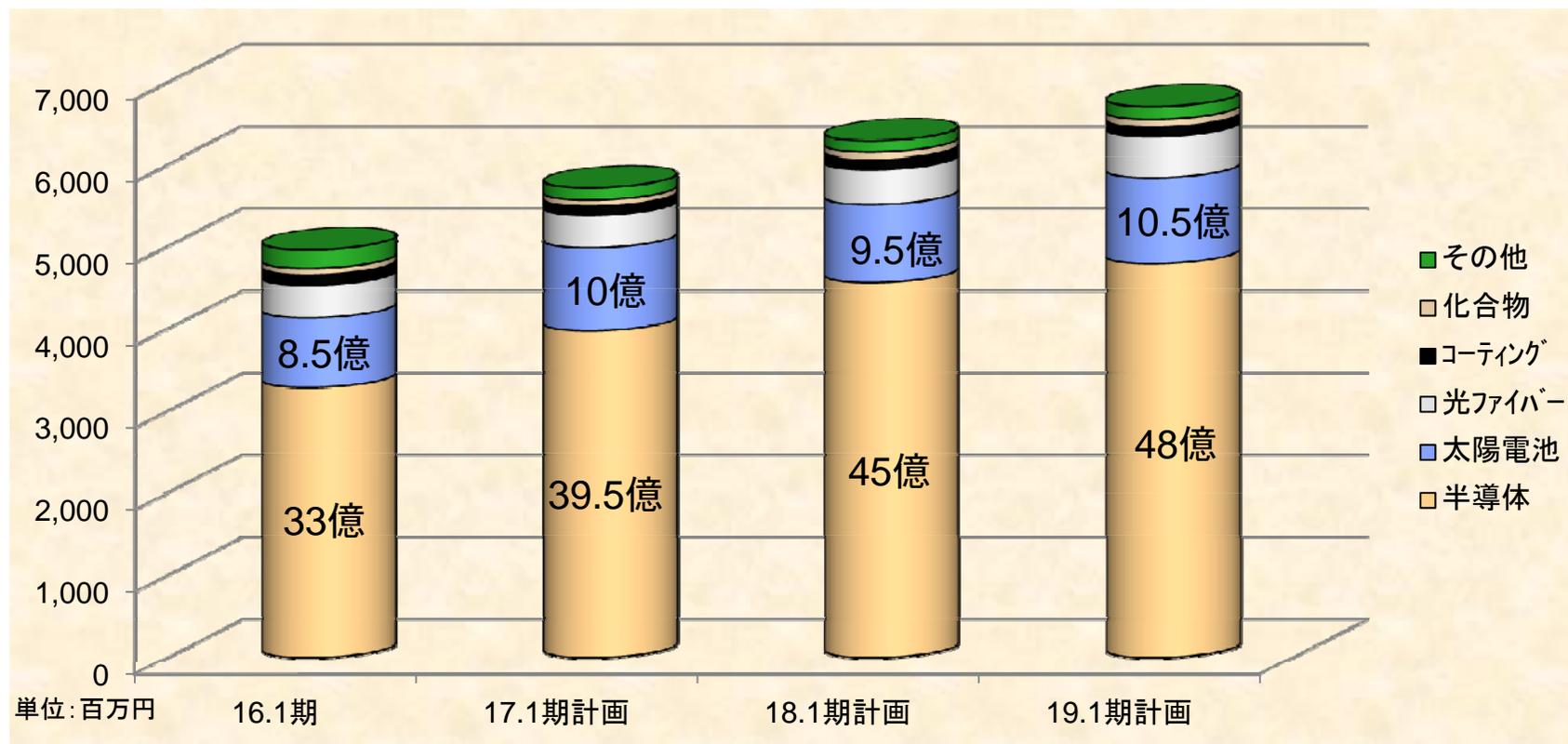
当社の取り組み

- 生産・開発能力の向上・効率化
- 半導体向け新規材料の市場投入

中期経営計画重点戦略：製品戦略

Si半導体向け新規材料の投入を加速

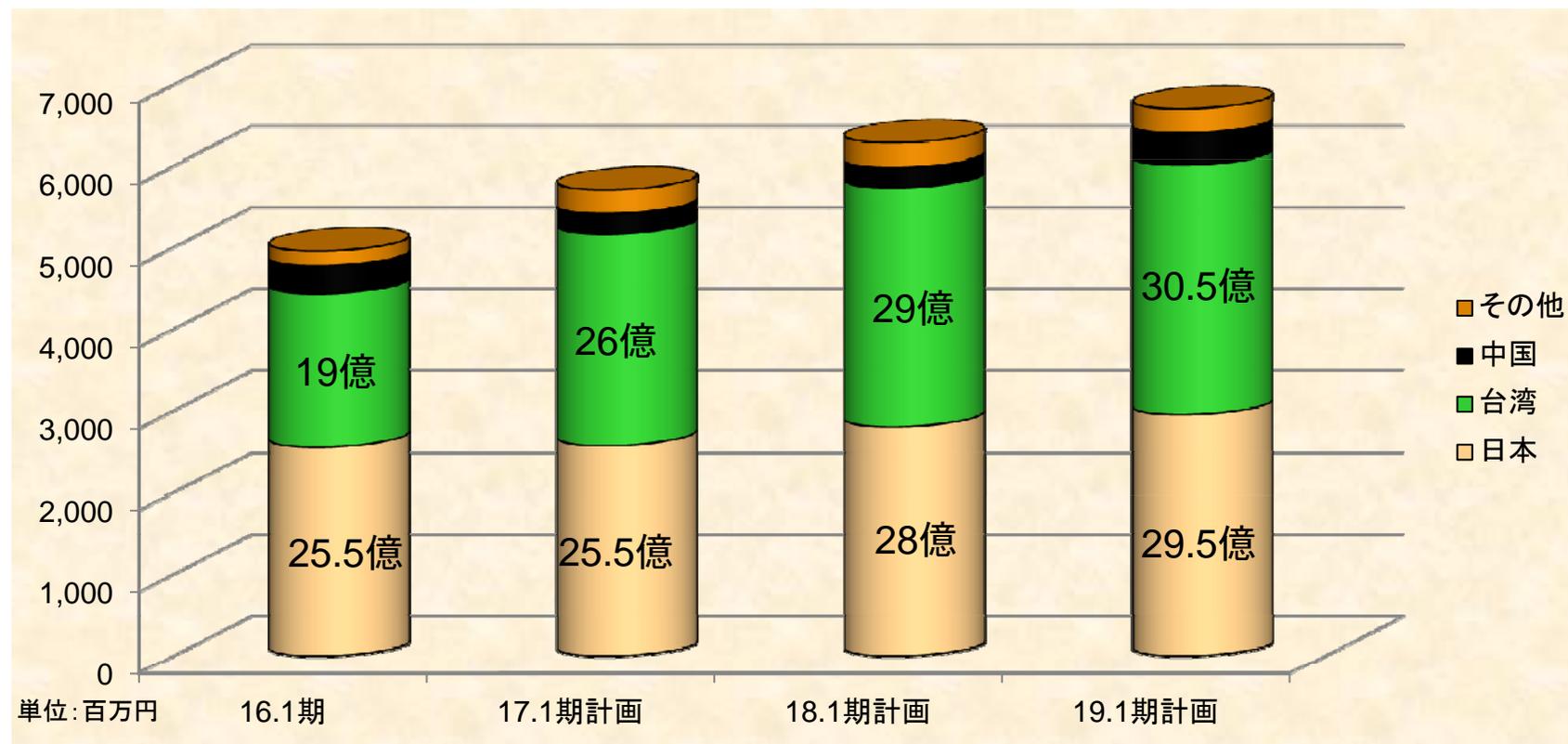
中期販売計画(製品用途別)



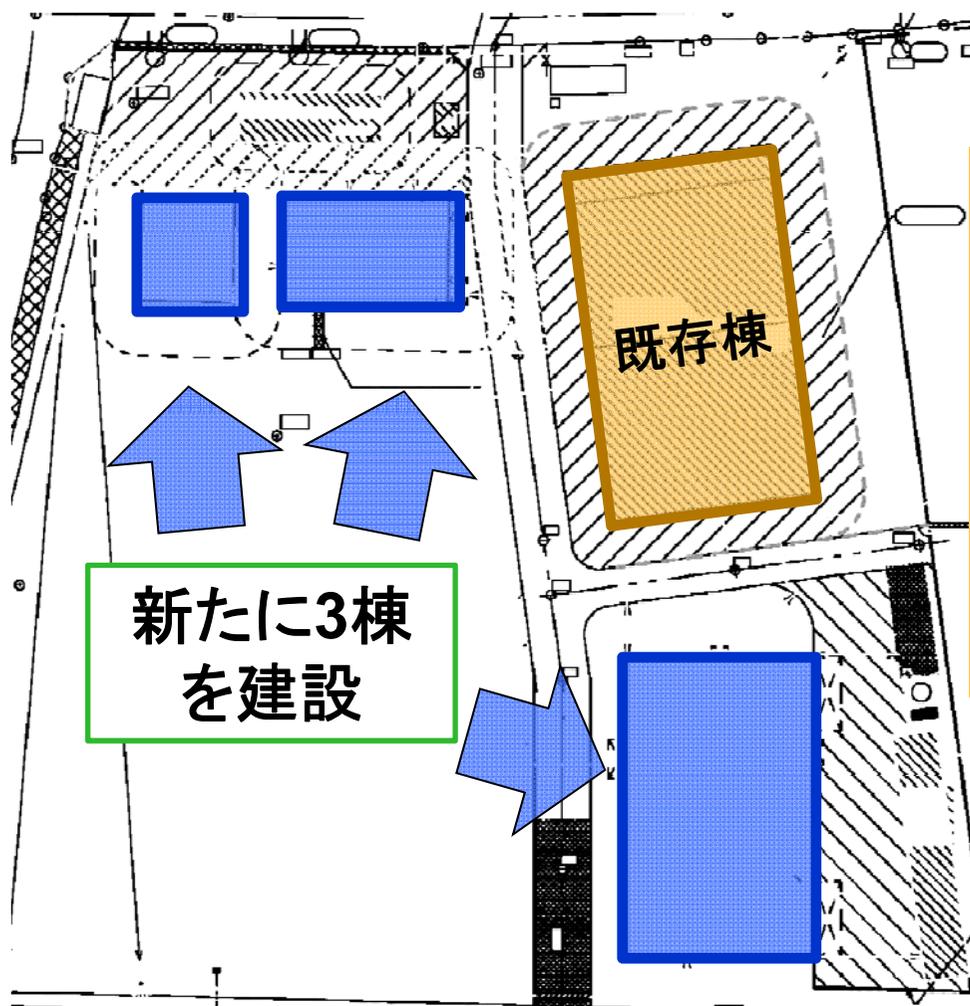
中期経営計画重点戦略：地域戦略

台湾市場を主要な販売先として育成

中期販売計画(地域別)



中期経営計画：上野原第二工場増築について



期待される効果

- ・半導体向け新規材料の製造
- ・既存材料の生産拡大、合理化
- ・工場全体の生産量拡大に伴う補助施設の強化
- ・本社工場も含めた既存設備の生産・開発体制再構築

→計画2年目以降の
成長の土台に

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先: homepageinfo2@trichemical.com